

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成7年9月25日 第26報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	14		◎
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	6		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	75		
(珪) <i>Stephanodiscus astrea</i> var. <i>minutula</i>	80		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	82		
(緑) <i>Planktosphaeria</i> sp.	130		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	370	◎	○
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviatile</i>	64		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	1		
(他) その他の植物プランクトン	320	○	
(藍) 藍藻綱	40	2.9	49.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	235	16.8	10.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	8.6	1.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	687	49.0	38.7
(他) その他のプランクトン	320	22.8	0.0
総細胞数	1402	総体積 (μm ³) 1.40E+06	
種類数	15		

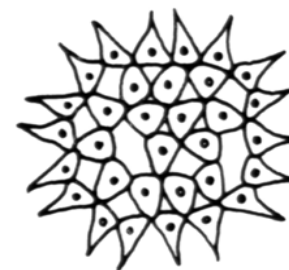
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	370

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria</i> sp.	130

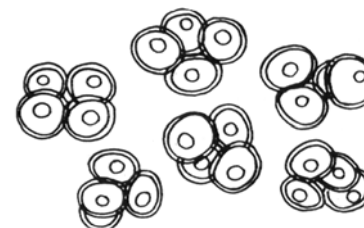
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



***Planktosphaeria* sp.**
(プランクトスフェリア)
緑藻綱

細胞は球形で寒天質の中にある。若い群体では細胞は密に集まり、古い群体では離れているのが特徴である。